



慶応義塾普通部

日本レーザー社長

近藤 宣之氏 (69)



慶応義塾には中学から大  
学まで在籍したが、中でも  
中学校にあたる普通部での  
日々は思い出深い。一つは  
バレーボール部で汗を流し  
たこと。小学校までは野球  
をしていたが限界を感じ、  
当時はまだ野球に比べて人  
気がなかったバレーボール

でなら活躍できるかと思  
い入部した。体育の先生を  
コーチに迎え、徹底的に特  
訓を受けた。試合では、同  
じ慶応義塾の中等部にライ  
バル意識を燃やしたのも  
だ。普通部は男子校だが、  
中等部は共学。だから余計  
に対抗した。夏は寝袋を教  
室に持ち込んで合宿もし  
た。強さは超一流というわ  
けではなかったけれど、可  
能性に情熱をかけた楽しい  
日々だった。日本フィルハ  
ーモニー交響楽団の専務理  
事を務める平井俊邦さんは  
部の1年先輩で今でも親し  
い。チームワークを育てる  
集団競技をこの時期に経験  
できてよかったと思う。  
もう一つは教育だ。19  
56年の入学式での訓示は  
今でも覚えている。「君た

バレーボール部で特訓 ‘楽しい、日々

ちは将来日本のリーダーと  
なる人たちだ。重要なこと  
はひとつ、聡明であって善  
良であれ。当時の峯村光  
郎普通部長（慶応義塾大学  
名誉教授）からの言葉だっ  
た。12歳の子どもにとつて  
は難しい話をいきなり聞か  
され驚いたものだ。私は学  
生時代も社会に出てからも  
リーダーを担うことが多か  
ったから、折に触れてその  
意味を考え続けてきた。今  
では置かれた状況を的確に  
判断する「聡明さ」と、損得  
2の14の1）



普通部の同級生と奥  
多摩（東京）へ散策  
（右端が本人）  
.....  
ではなく役に立つ  
か、正しいかどうか  
で道を選択する。善  
良さが大切だと思  
うようになった。社  
長業をする上で強く  
心にとめていいる。  
普通部には夏休み  
を利用して自主的に  
設定した課題を追求

する「労作展」という行事  
があった。私は地元である  
東京都青梅市の織物業をフ  
ールドワークしたりポー  
トをまとめて表彰され、大  
変いい経験になった。今も  
労作展のほか、各界で活躍  
する卒業生が在校生相手に  
授業を行う「目路はるか教  
室」など、さまざまな制度  
がある。生徒を子ども扱い  
しない自由な教育方針は今  
もすばらしいと思う。  
（東京都新宿区西早稲田